丹波地域のホトケドジョウの保全活動

山科ゆみ子・仲井啓郎・樋口清一・大塚剛二・足立隆昭・大谷吉春・長井克己・杉本義治・矢尾謙三郎・田井彰人・酒井達哉・村上俊明・上平健太・井本満也
（ひとはく連携活動グループ　丹波地域のホトケドジョウを守る会）

はじめに

ホトケドジョウは東北地方から近畿地方にかけて住んでいて、兵庫県は分布の西限にあたり丹波市の４か所で確認されているだけです。里山の涌き水が流れる溝やそれに連なる沼池で夏場の水温が低いところに住んでいます。２００６年に結成した「丹波地域のホトケドジョウを守る会」では、毎月ホトケドジョウの数や生息環境などの調査を続けています。ホトケドジョウの数は確認した当初より減っており、これ以上減ると絶滅のおそれがあります。

保全活動

私たちの会では①生息地の整地や補修など住む環境を改善し、その数を増やす。②ホトケドジョウが住めそうな他の溝や沼地に放流して、住んでいる場所を増やす。③個人や近くの小学校で飼育してもらい、ホトケドジョウを知ってもらうとともに繁殖させる。④水族館で増殖してもらい放流できる数を確保する。などに取り組んでいます。

生息地の水温

これまで確認した生息地はいずれも湧水と関連していることから、冬暖かく夏冷たい環境がどうしても必要なのかどうかを確かめるため、自記水温計（温度ロガー）をホトケドジョウの生息地と放流候補地、また生息地のすぐ隣の現在住んでいない溝に設置しました。その結果、現在もっとも数が多い生息地の湧水の噴出し口での最高水温は、2011 年 8 月 13 日 14：00に記録された 16.0℃で夏でも冷たいことがわかりました。ところが、ここでの冬季の最低水温は 2011 年 1 月 31 日から 2 月 20 日まで 20 日以上にわたって連続して記録された 4.5℃と湧水にしてはあまりにも低い温度なのです。このあたりにホトケドジョウの住み場の秘密が隠されているのかもしれません。

これから

これらの保全活動をとおして絶滅を避け兵庫県の生物多様性を守るとともに、丹波の水辺の風土を担う一員として、子どもたちの遊び相手にもなることを期待しています。